

Dr.ひろみの



ハッピー子育て

か る た



みなさま、こんにちは。早いものでもう夏休みですね。先月からユニパス親の会を高松で開催しているのですが、親同士、子どもの悩みを話し、先輩親から話を聞くことで、先の見通しがついたり、自分を振り返ったり、子どもの気持ちや行動に納得できたり。悩んだときは誰かに相談もいいけど、同じ目線の経験者に話をきいてもらう、経験談を聞くってすごく癒されるし、勇気もらえるみたいです。



☆読み手☆
鈴木 裕美 (すずき ひろみ)
香川大学医学部 小児科専門医

28

その子らしさを
受け入れる
必要なのは
親の勇気



27

りかいだけなら
「でも」がでる
納得したら
応援できる



今月のかるた解説

もしあなたの子どもが他の子どもと比べて学校生活がうまく送れないこと、困りごとが多いこと、言動が気になることがあったとき、専門家の話を聞いたり、本を読んで原因を理解する(頭でわかる)ことは難しくないのです。ですが、その現実に納得する(心でわかる)ことができていないと、「でも」頑張ればできるんじゃないかと期待して責めたり、子どもをなんとかして変えようと説得したりしてしまいます。あなたが「(子どもが) そうなるのも (そう感じるのも) 当然だよ、子どもが幸せならそれでいい」と納得できると、子どもの気持ちややろうとすることを応援したり、必要な支援をうけることができるものです。

その子自身の思いや持っているもの(能力や性格、くせ、性的指向など)を受け入れ、親の理想ではなく、その子らしい人生とは何かを一緒に考え応援できれば、子どもは幸せに生きていくことができます。子どもを自分好みに変えるために躍起になるのではなく、その子らしさを受け入れ、納得すること。勇気が必要ですが、それが子どもの幸せのスタートラインだと思えば、きっとできると思います。

